



学校だより

勿来二小

平成28年12月2日(金)

第95号

いわき市立勿来第二小学校

ともに学び合う子どもを②！



学

校だより第62号で、教師の研修の様子をお知らせしましたが、本日は第2弾です。いわき教育事務所主任指導主事の先生をお招きして授業研究会を11月29日に実施しました。

授

業は、第5学年2組の坂本先生の学級を参観して行いました。教科と単元は、算数科「単位量あたりの大きさ」です。

この授業にした理由は、全国等の学力調査の結果から課題となっている単元になっていること。また、子ども同士の学び合いも本校の課題となっているということからです。言うなれば、この授業こそが、本校の喫緊の課題解決のための研究といっても過言でないと思います。

授業は、3つのうさぎ小屋（ちがった面積にちがった数のうさぎ）の混み具合の比べ方を考えるという授業です。子どもたちは、既習事項を生かし見通しをもったあと、自力解決（左上）

→考えの交流（右上）→発表（左下）→練り上げ（右下）→まとめ→練習問題による定着。という流れで授業は進みました。

※ 練り上げというのは、より効率的な方法を絞りこむということです。5年生では「はかせどん」という言葉で押さえています。

は：はやく できる。

か：かんたんに できる。

せ：せいかくに できる。

どん：どんな場面でも できる。

線分図やグラフを使ってわかりやすく説明しようとする姿、自分と友達の考えの相違点に気づき、考えをより深める姿等、多くの成長を感じることができました。ただ言えることは、「ローマは、一日にして成らず」力をつけるためには、目的を明確にした繰り返しの学習です。